

# 週報

2026年度 教会標語

「神様に“望み”を持って、生きる！」

&lt;先週の説教から&gt;

『詩編 — そびえる岩山に導いてください』

武田真治 牧師

詩編 61:1~9 ローマ書 7:19~25

月末には、いつも詩編を読んでいます。最初のト書き(1節、英語ではタイトル)には「ダビデの詩」とだけあり、どのような状況で彼が作ったのかは分かりません。ただし、昔から想定されて来ているのは、おそらくダビデ王の晩年、実の息子アブサロムによって謀反をヘブロンで起され、そこから軍隊がエルサレムの町に向って進軍しているという知らせを受け取り、息子と戦うことを避けて、身の回りの手勢だけでエルサレムを出て、ヨルダン川を渡りマハナインまで逃げた出来事(=サムエル記下15~19章)と関係しているだろうと。なぜなら、この詩の書き出しが「神よ、わたしの叫びを聞き、わたしの祈りに耳を傾けてください。心が挫けるとき、地の果てからあなたを呼びます。」という“逃げている状況の中での悲痛な叫びと祈り”だからです。

おそらく、ダビデはたくさん詩や歌、祈りや讃美を為し、彼の側にいつもいた書記官がそれらを記していました。それらの中でこうして『詩編』に残されたものは、その後多くの信仰者たちの共感を呼んで歌われ、祈られたからでした。特にこの詩編61編はバビロニアによってエルサレムが陥落しイスラエル王国が滅び、見知らぬ土地に離散していったユダヤの民にとって、特に「心が挫けるとき、地の果てからあなたを呼びます。」は、とても共感できる言葉であったのでした。

ただ、この詩編で大事な点は、ここでダビデが神様に求めている願い事です。即ち「高くそびえる岩山の上に、わたしを導いてください。」です。ここでの“高くそびえる岩山の上へ”とは何を意味しているのかという点です。一つの意味は、アブサロムの軍隊が後を追って来ることが想定できるので、次の行にある「避けどころ(マハセー=逃れ場)」「敵に対する力強い塔」を与えて欲しいという願いでしょう。ただ、それだけではないことが、次に続けて「あなたの幕屋(オーヘル=礼拝所)

に宿り)、「あなたの翼を避けどころ(セーテル=ふところ)として隠れ」させてくださいとも祈られている点にあります。これは明らかに「高くそびえる岩山の上」が《礼拝の場所》であり、そこを確保してくださることで、自分はその場所で“癒され、教えられ、力付けられる”ことが出来るのだからと！従って、ダビデはただ逃げる事だけを考えていたのではなく、この苦境の中で「挫けてしまった」自分を“見つめ直し、癒し、立て直す”時を求めているのです。神様から遠く離れてしまったように感じている自分にも、必ず「叫びを聞き、わたしの祈りに耳を傾けてくださる」方であることを信じるために。

私たちにとって、その場所がまさに《礼拝の時》であり、その「地の果てからあなたを呼ぶ」声に答えて、この世界に来てくださった方がイエス・キリストその方ではないでしょうか？そして、今も、主は私たちに答えて、聖霊を通して、私たちの側にいてくださっているのです。

\*\*\*\*\*

## 【今週の集会】

\*聖書研究・祈禱会 I. 6月10日(水) 20:00  
II. 6月11日(木) 10:30

聖書研究: ヨブ記

祈禱主題: 花の日・こどもの日合同礼拝を覚えて

担当者: (水) IY (木) TR

祈りに覚える人 SYさん SMさん

## 【教勢報告】

主日礼拝 男13 女49 計62

祈禱会 I. 男3 女2 計5 II. 休会

日曜学校 幼稚科5 小中科9 計14

## 【次週・花の日合同礼拝】 6月14日(日)

聖書: マタイによる福音書 6:28~30

説教: 「花の日合同礼拝—花の日って何?」

武田真治 牧師

讃美歌: 470(114)、32(27)、200(55)、194(49)、

【次週当番表】 60(58)、490(137)

司式: IH長老 奏楽: MA 礼拝: IY長老

献金: SY SM 受付: SM HH

会堂準備: IY OY KS NY

MH

看板: II 週報: YS お花: IK

## 【次週集会予定】

礼拝前: ・聖書輪読会 ・はこぶねルーム

礼拝後: ・大掃除 ・壮年会 ・婦人会 ・ダビデ会

2026年 6月 7日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&amp;FAX 048-771-6549